



修学旅行を終えて



入学して以来、初めての宿泊研修でもある修学旅行を無事終えることができました。久しぶりの大きな行事でもあり、行けるかどうか心配した分、それぞれの研修先では力いっぱい活動に取り組む姿が見られました。

1日目の研修

山陰松島遊覧では、「ここ何ヶ月かで1番の透明度」と船のガイドの方が言われたくらいきれいな海を見ることができました。水深7～8メートルの場所でも、海底の砂紋がはっきりと見えるくらいの透明度です。3日間の修学旅行がステキなものになりそうな予感を感じさせる天気にも恵まれました。



続いての鳥取砂丘では、砂丘ビジターセンターのスタッフの方に説明を受けながら、砂丘を散策しました。暑い日でもあり、砂丘らしさを感じた研修でしたね。説明をしっかりと聞いた後は、馬の背を全力疾走の人もいました。初日から（初日だからこそ？）元気いっぱいでした。



「先輩に学ぶ」研修では、株式会社 ALE の岡島礼奈さんの講演を聴きました。附中の先輩ということもあり、皆さんに強いメッセージを送っていただきました。「なりたい職業ではなく、やりたいことを抽象化して考える」「道は複数ある」といった言葉は、私たちが進路を考えていく中で、自分たちの選択を広げることに繋がっていきます。

夜はテーブルマナー講習。使い慣れないナイフとフォークに緊張気味でした。料理を前に、「何から食べていいかわかりません」と戸惑う様子も。中には、プロックローが皿の外に・・・、などという様子もありました。後半は少しずつ慣れてきたのか、余裕が感じられました。

2日目の研修

最初は、足立美術館。米誌の日本庭園ランキングで 19 年連続日本一に選ばれているだけあり、細かなところまで配慮の行き届いた庭園です。窓から眺める景色を見ながら、美術の授業で習った技法の知識も引用して鑑賞している姿も見られました。横山大観の絵画も有名ですが、それ以外にも自分の好きな絵を見つけて鑑賞している人もいました。



次は、水木しげるロード。皆さんは「鳥取の魅力発見・発信」というテーマで研修をしてきました。取材のカメラが来ていましたが、これも発信の方法の 1 つ。境港市が発信しているのですが、皆さんも、境港の魅力を発信することにつながっていますね。

ヒルゼン高原センターでは、小雨が降ったもののたくさんのアトラクションに乗ることができました。当初の予報では、80%の雨予報でしたが、小雨のち曇り。この旅行、ついてますね。



夜の講演では、写真家の柄木孝志さんの講演を聴きました。鳥取にいる皆さんが行動することが大事なのだと、熱い口調で語りかけておられました。まず「気づく」「知る」ことが大事で、それから発信するのだ、と私たちの修学旅行のテーマに当てはまる話を聞くことができました。私たちに期待がかけられているのを感じました。



3日目の研修

朝のすがすがしい大山を散策しました。前日、写真家の柄木さんのお話を聞かせていただいたので、散策のテーマは「映え写真」。前日の曇りから一転、大山がはっきり見える天候に恵まれ、各班ともステキな「映え写真」がとれているようです。オリエンテーリングに出発するときのお題、「与えられたテーマを体で表現」の写真は、掲示しますので見てみてください。

そして、クラス別の中部研修の後、鳥の劇場で「イワンのばか」を鑑賞しました。何のための戦争なのか、現在の社会情勢も重ね、いろいろ考えさせられました。鑑賞後のワークショップでは、立候補した皆さんが、動物に扮したり劇中の登場人物になりきったりと、芸達者な姿を見せてくれました。

今回の修学旅行では、講演の後たくさんの質問が出たり自分たちで先を見て行動したりと積極的に行動する姿があり、とてもうれしく思いました。何事にも進んで取り組める姿勢を大事にして、今後の生活もぜひ充実したものにしてください。

